



東山便り

Vol.46

2020.10月号



東山デンタルクリニック
HIGASHIYAMA DENTAL CLINIC

愛犬の死から思う 歯の大切さ

院長の長縄敬弘です。私事です。去る7月上旬、15年間に渡って苦楽をともにした我が家の愛犬のねね（ミニチュアシュナウザー♀）が天国に旅立ちました。

子供達が生まれる前からずっと共に生活してきたワンコでしたので、私たち家族にとって喪失感が大きく、改めてその存在の大きさに気づかされました。

ねねは病気知らずで、高齢になるまで殆ど動物病院にお世話になりませんでした。ただ、唯一悩まされたのが「歯周病」です。

いつも食欲旺盛で人の食べ物も何でも欲しがる食いしん坊が12歳を過ぎたあたりから時々餌を残す様になりました。同時にだんだん口臭も酷くなりました。どうやら歯周病で歯がグラグラになり、痛くて食べられない様でした。

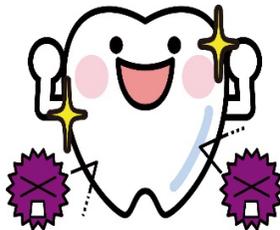
歯周病が悪化してきた時期から、身体にも色々な変化が出てきました。しっかり食べれないので食欲が落ちて痩せて体力が落ちて行きました。同時に腎臓の数値が上がったり、蓄膿症様の症状（おそらく歯周病が悪化して鼻腔に感染したのは？）とか不整脈や全身痙攣など様々・・・

老犬ですから全てが歯周病の悪化が原因とは言えませんが、歯肉が慢性的に炎症を起こしてしまっていたので、身体中に悪影響を及ぼしても不思議ではないなと思いました。

何度か獣医さんに全身麻酔下で歯石取りしてもらいましたが、日頃のケアを極端に嫌がる子でしたので結局歯周病が悪化して行きました。

最後は犬歯と奥歯が1,2本の残るだけの状態でした。今にして思うと、子犬の頃から歯ブラシの習慣をつけてあげられたら、もう少し長い間大好きなリンゴを食べさせてあげられたな・・・と後悔しています。

人間も犬も、若い頃から歯周病予防の習慣を身につけておくことが大切ですね。歯科医師としてこの体験を無駄にすること無く、これからもお口のトラブル改善に注力するとともに、口腔内の健康の大事さを伝えていきたいと思ひます。



朝のちょこっとスピーチタイム♪

受付の森です。今も続く当院のコロナ対策の一つとして、昼食時に1つのテーブルを囲んで皆で食べる事をやめ、少し距離をとりながら、各々好きな場所で食べるようにしています。

また、朝から帰宅するまで1日中、昼食時以外はマスク着用が当たり前の習慣となり互いに表情を見ながらコミュニケーションをとる時間が以前より少なくなった気がします。



そんな中始まったのが、「朝のちょこっとスピーチタイム」。スタッフ全員での朝礼の後、診療開始までの残った数分間、今まではほぼ毎日、院長が様々なお題で語り続けてくれていましたが、今年の夏に突如アプリのルーレットが登場し、当たった人が院長に変わってスピーチを担当する事になりました。

最初はルーレットを見つめてみんなソワソワ、全員を前にして何を話すか頭グルグル、そんな感じでスタートしましたが、いざ始まってみると、家族や趣味の話、好きな芸能人の事をそれはそれは熱く語ったり笑、真面目な話から、ほっこり笑える話まで、それぞれ自由に思い思いに語っています。

スタッフの人数が多いので、あまり出番は少ないかなあ、と思いきや、意外とよく当たり、私はなんだかよく当たるので、そろそろネタ切れしそうです笑。毎朝のほんの数分間ですが、毎日長い時間を一緒に過ごすスタッフや先生方のまだまだ知らない、新たな一面も発見でき今ではとても場が和む良い時間になっています。息苦しいマスクをはずし、互いの表情を見ながらのびのびとコミュニケーションがとれる日々が早く戻ってきますように。今日もルーレットはグルグルまわります♪



オススメ「flossちゃん」!!

こんにちは、歯科衛生士の青山です。本日は、小さなお子様向けのフロスをご紹介したいと思います。みなさんフロスは使っていますか？歯ブラシだけでは歯と歯のすき間まで届かないため、フロスの使用をおすすめしております。



ですが、小さなお子様の仕上げ磨きは歯ブラシだけでも大変だったり、誤ってお口の中を傷つけてしまわないか心配される方も多いかもしれませんね。

そこで私がオススメするフロスは『flossちゃん』です。まず見た目がとってもかわいいです。この『flossちゃん』は丸みを帯びた柔らかい素材で出来ているため、お子様が誤って噛んでしまってもお口の中を傷付けてしまう心配が少なく、奥歯にも通しやすくなっております。



大きさも一般的な柄のついたフロスより小さいのでお子様のお口にもとても入れやすいです！今後小さなお子様の仕上げ磨きの際フロスを使用してみようかとお考えの皆様。是非こちらのフロスをお試し頂ければと思います。